

# んだすな

“持続可能な地域はつくれる！！”  
「おやじまつり in 大葛」

おやじのおやじによるおやじのためのまつり「WILD JOURNEY 2014 SUMMER おやじまつり in 大葛」が8月17日(日)大館市比内町の旧大葛小学校で開催された。幅広い年代が楽しめるような催し物も準備されており、国産車・外車問わず多種多様な車やバイク等が、自慢の愛車のエンジン音を響かせ入れ替わり立ち代り訪れ、市内外からの来場者からそのたびに歓声が湧き起こった。

## 好きな人なら絶対来てくれる！と信じて。

発起人でもある浅利宗郎(あさりとしお)さんは、「仕事で疲れて一日が終わりじゃつまらない」。自身が経験して面白かったもの、子供から大人までの男性が喜びそうなイベントを開催したい、と数年前から想いを暖めてきた。自分の趣味を生かすことで生活にハリがでて、さらに地域をも巻き込めれば、という思いを形にすべく「おやじまつり」を企画した。

自身もスタッフの1人であり主催者である「Unique(ユニーク)」と「大葛の将来を考える会」の協力を得て今回で3回目を向かえた。

最初、他での開催例もなくどんな人が参加してくれるのか、また場所も遠く、人が来てくれるかどうか不安だったが「好きな人なら絶対来てくれる！」と信じて開催した。年を追うごとに来場者が増え、地元地域の活性にも大きな弾みがついてきた。大葛の将来を考える会・嶋田会長は「大葛からさまざまな情報を発信していければ」と今後にもむけて前向きだ。会場では同じ趣味を持つ人々が交流を深め、来場者からの質問や

写真にも応じていた。

60代の男性は「青春時代を思い出す。孫と楽しみにしていた。共通の話ができるのでうれしい」と満面の顔で話した。

「おやじまつり」は大館市の市民団体が自主的に行なう「まちづくり事業費補助金」を活用して開催され今回が最終年を予定していたが、来場者や地元の声を受け次年度以降も継続することに決まった。

沢山の人を受け入れることで、様々な課題も見つかった。その1つは「資金を得るための手段」。浅利さんはゼロから始めて世間に周知されるまで3年はかかる。自力で活動できるまであと2~3年はかかりそうだが皆で知恵を出し合って乗り切りたい、と話す。これからが正念場である。



中央が浅利宗郎さん

# それぞれが手をつないで、点と点を線で結べば、やがて大きな円になる！

## 『鹿コン』 & 『青空名刺交換会』

とにかく鹿角に足を運んでもらいたい！！という思いから8月31日（日）鹿角市を見渡せる史跡尾去沢鉦山において「鹿コン vol.2」と「青空名刺交換会」を開催した。

主催GET UP PROJECT 金澤大輔代表。

「鹿コン vol.1」に続いて今回もMCはマティログさんと萌さんご夫婦。先ほどまでの雨は嘘のように止み、まずはMCマティログさんの軽快なおしゃべりからスタート！名刺を見せ合いながらお互いの活動をアピールしたり、和やかな雰囲気で行われた。



マティログさん・萌さん

ないものねだりではなく、「タノシイコト見つからなければ創ればいいじゃん！！」をキーワードに、地域活性化に向けたイベントを開催する金澤さんは、県の結婚サポーターも務めており今回のイベントを企画した。

### 一 目的は？

- 鹿角という地域と人をもっと知ってもらいたい、という思いから。
- 婚活のイメージのハードルを下げるのが狙い。市民なかにもいろんな活動をしている人達がいるのに、そこが繋がらないと知名度が上がらないのでそこを繋いで、自分の世界を広げようという狙い。

### 一 内容は？

- 『鹿コン』  
出会いのエリアとチャンスを広げるゆる〜い婚活イベント。
- 『青空名刺交換会』  
自分をPRする手書きの名刺を作り、交換しながら交流する。



自己紹介タイムです。

### 一 開催してみて？

二つのイベントを繋げる狙いがあった。『青空名刺交換会』の参加者は自分で何かをやっている人達、怖くても最初の一步を踏み出した人達。『鹿コン』の参加者というのはそこがまだなかなかできないでいる人達。そんな人達が、一步踏み出した人達の体験を聞くのはプラスになるんじゃないかと思い一緒にした。そこには成果があったところだと思う。

課題はやはり人集め。田舎の人は腰が重いのと引っ込み思案なのとアンテナ感度が鈍い。そこを変えていくのが当面の課題。

### 一 今後については？

10月13日（祝・月）「キラフェス☆」開催

- 場所：鹿角市新町商店街を使ったイベント
- ハロウィンの仮装コンテスト、ジャックランタン作り、ダンスとバンドのステージ、肉のお店を集めた肉祭りなど盛りだくさんの内容。
- 詳細はHPで：<http://gup.jp/index.html>



阿仁の浜省こと菊地博忠さん

### 一 何が金澤さんを突き動かしているのか？

1つは道を作ればと...

今でも遠い未来でも、誰かの記憶に残って“あんなイベントあったな...”とか“あんなことしてる人いるんだ...”なんて思ってもらって、“あの人にできるんなら俺にだってできる！”と思ってもらえたらなあ... と。

もう1つは、自分でもよく分りませんが、自分の世界を広げたいのかもしれないですね。新しい出会いから広がる新しい世界！人の数だけ出会いがあって世界がある！

実はこう見えて物凄い人見知りで小心者。毎回何かやるため誰かと会ったりするのって本当は物凄く怖いんです！！でもその中で1つでもいい出会いがあればまた1つ自分の世界が繋がって広がった感じがして、それが嬉しいんですよね。

“世界を変える”ってそういうことだと思うんです。市制や国や現実の世界は個人ではどうにもできないけど、考えや気持ちの持ち方で“自分の世界”は変えられる！そういう人が増えれば、いつかきっと現実の世界も変わっていくことができるんじゃないかと...

だから地域を何とかしたい！とかは言いますが、根っこの部分はやっぱり自分が楽しむことをでっかいスケールでやりたいな！っていうところですかね。

# 県北キャリア甲子園の“今”

昨年度1月25日、県北地域の小中高校が取り組む「キャリア教育」を地域が積極的に応援するきっかけを作ることを目的に、「県北キャリア甲子園」を開催しました。

「食」をテーマに取り組む11校が参加し、秋田県内企業（21社）、NPO（19団体）による「商談会」が実施され、具体的な協力や連携の「芽」が多数生まれました。

今年度は参加した小中高校に、活動の進捗状況等を伺っていきたくと思っています。今回は秋田県立大館高等学校と大館市釈迦内小学校にお伺いしました。

## 秋田県立大館高等学校

今年度は大館市の農事組合法人立花ファームと連携してブラックベリーを使った新商品開発に取り組んでいます。大館高等学校は、郷土菓子「かまぶく」の普及など、地元の食をテーマに活動しています。

立花ファームは農業、林業、立花ファーム直売所を経営しており、大館では珍しいブラックベリーを300本栽培しています。夏に収穫後、ジャムやゼリー等いろいろ加工してきましたが、大館高等学校にはもち米や米粉と組み合わせた新商品を依頼。

今後意見を擦りあわせながら開発に向けて進め、イベント会場を利用して試食会を開きながら年度内に商品化を目指しています。

## 大館市立釈迦内小学校

釈迦内小学校では昨年(有)ナチュラルファーマーズと協力しオリジナル商品「S-マヨ」を開発、今年度は県北キャリア甲子園でタッグを組んだ日本ナチュラル(株)とひまわり油を使用したドレッシングの開発をしています。

北秋田市のラーメン店「元気屋」と共同開発した「ミートソースらめめん」  
(5月1日北鹿新聞)



ブラックベリーを使用した商品開発を目指し、大館高等学校と立花ファームとの意見交換  
(8月12日北鹿新聞)

種まきには、地域住民やボランティア、企業など様々なセクターが参加。県北キャリア甲子園に参加した秋田銀行や、大学生ボランティアサークル「ARC グループ」などまさに「見える協働」が実践されています。  
(6月8日北鹿新聞)



日頃から、若い柔軟な考えで地域食材をいかした商品開発・研究をしています  
(6月21日おおだて新報)

# すてっぷ あっぷ STEP UP!! 市民活動

## 第3回

市民活動相談業務担当の高坂翔です。



## NPO 法人って？ NPO と違うの？

NPO 法人とは、NPO の中で NPO 法（特定非営利活動促進法）に基づき、所轄庁（\*1）から法人設立の認証を受けて、法人格を取得した団体のことです。法人になると組織がしっかりして信用が高まるようなイメージがあり、法人化をしたいといわれる方も多いです。

しかし法人化にはメリットと義務があり、本当に必要かどうか十分に検討して、団体にとってよりよい選択を行うことが必要です。

（\*1）NPO 法人の所轄庁とは、主たる事務所が所在する都道府県の知事（または指定都市の長）なので、秋田県においては秋田県知事です。

## NPO 法人のメリット

	任意団体	NPO 法人
契約の主体	事務所や物品を借りるのも、通帳作成も代表者などの個人名義。 →代表者などの個人に負担がかかる可能性がある。	契約を結んだり、通帳を作成したりする等、団体の名義で法律行為ができる。 →メンバーの個人的な負担が軽くなる。
資産	資産が個人の持ち寄りかどうか不明瞭。	事業に必要な資産を法人として取得することが可能。
資金調達	行政からの委託や補助金や、助成金等の審査時に制限されることがある。	融資や寄付金等のさまざまな資産調達の手段が増える。
職員の雇用	人を雇ったことによって発生する義務に基本的な違いはないが、NPO 法人であれば、ハローワークに求人を出した際に安心して応募しやすい面がある。	

## NPO 法人の義務

	任意団体	NPO 法人
運営のルール	規約、会員規則等はあくまで任意。しかし社会的ルールに基づいて運営することで外部との信頼関係を築ける。	法に沿った法人運営を行わなければならない。 ・総会開催（年 1 回以上） ・所轄庁への会計書類等の事業報告書の提出（年 1 回）
報告	特に報告の義務はない	情報公開の義務が生じる →透明性が増すので、社会的信用が増す。
残余財産	団体に定めがある場合はそれに従って処理。	解散したときに残余財産がもどってこない。定款に定めた者に帰属する。
課税対象として	収益事業を行うケースが少ないので、税金に関わることも少ない。	法人税法上の公益法人等としての扱いのため、収益事業を行った場合にだけ法人税が課税される。

## NPO 法人は法人格を持っているから、NPO の中でも優れた団体なの？

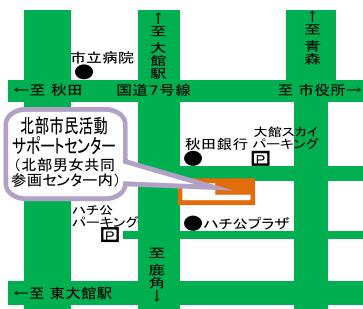
NPO 法人は、活動実績によって認証されているわけではありません。提出された申請が法定要件（\*2）を満たしているかどうかで所轄庁が判断し認証しています。よって NPO 法人が、ほかの種類の法人や任意団体よりも特に優れていることにはなりません。

その団体の評価は運営状況や活動実績等によって、「行政」ではなく「市民」の目で判断されるべきものです。

（\*2）（NPO 法第 12 条に規定する認証の基準等）



『んだすな』には、人と人が  
願いを共感し、協力し合えたら  
という想いが込められています。



編集：北部市民活動サポートセンター  
〒017-0842

秋田県大館市宇馬喰町 48-1

・TEL. 0186-49-8553

・FAX. 0186-49-8589

・<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

・E-mail [angec1@io.ocn.ne.jp](mailto:angec1@io.ocn.ne.jp)